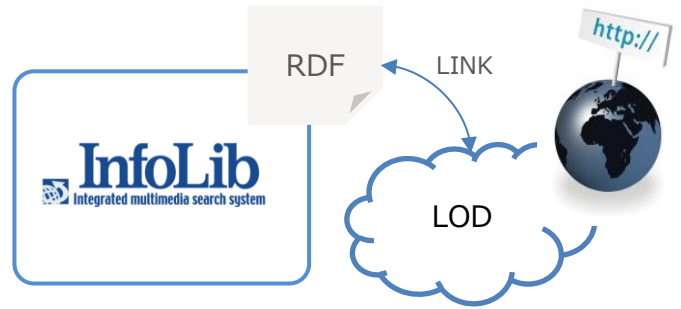


InfoLib-LODは、データを簡単に  
“Linked Open Data”で公開できる  
パッケージソフトウェアです。



## “InfoLib-LODの特徴”

### さまざまなデータをRDFに変換

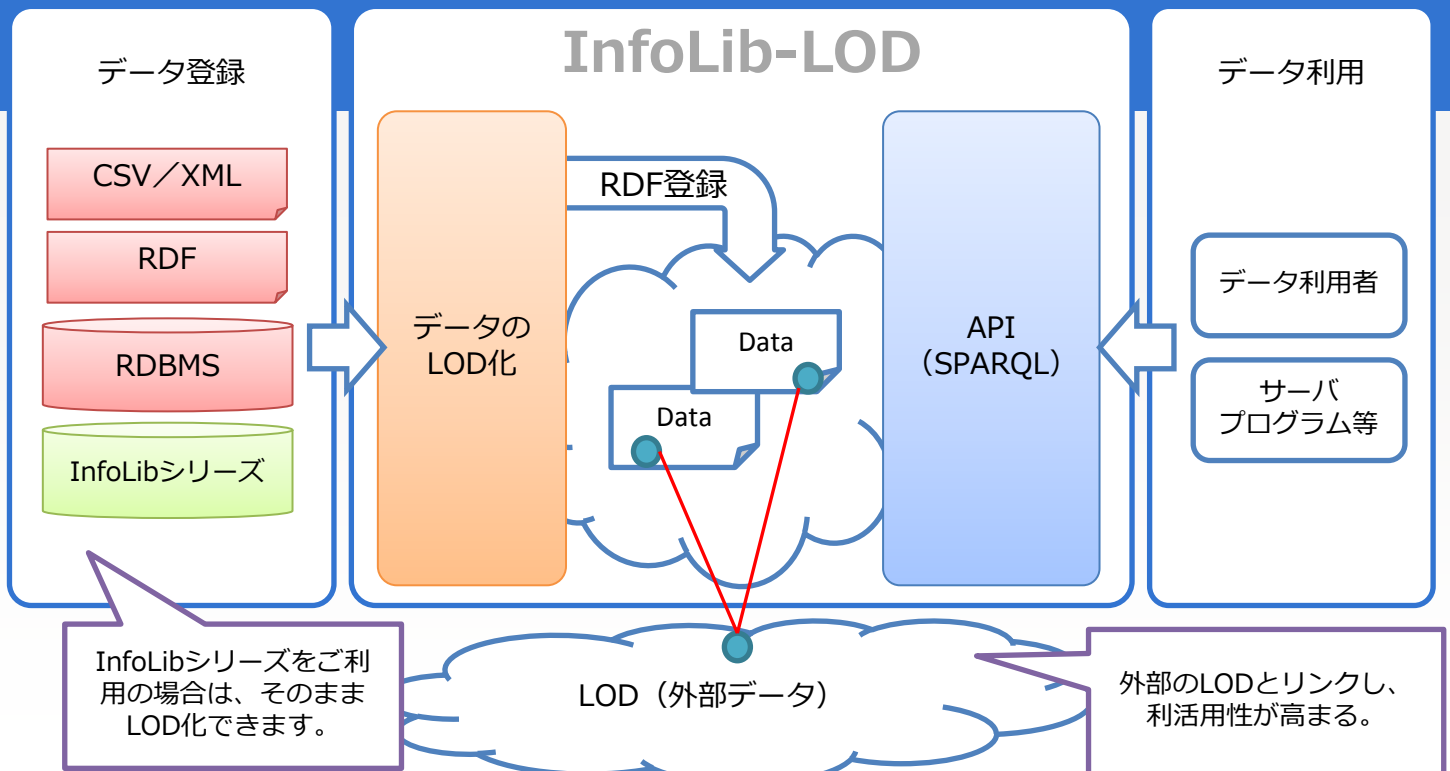
RDFファイルの登録機能は、もちろんですが、InfoLib-LODは、CSVやRDBMSを、RDFに変換する機能を搭載しています。

### リンクするデータへ

外部データへリンクされて初めて、Linked Open Data となります。登録されているデータ同士や外部データとリンクさせることができます。

### 柔軟な探索

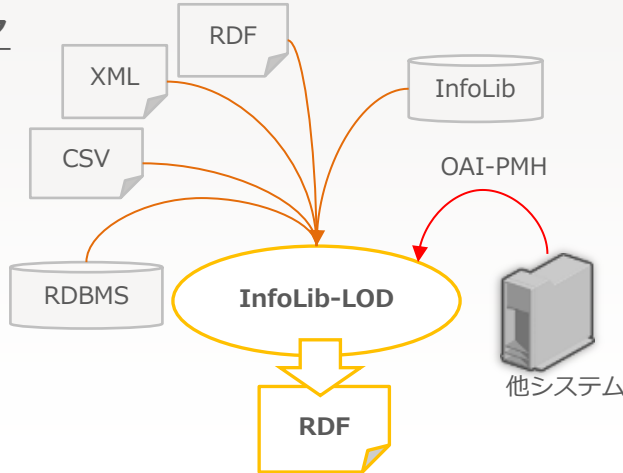
登録されているデータをSPARQLを使って検索することができます。また、探索結果は、様々なフォーマットで取り出すことができます。



## “さまざまなデータをRDFに変換”

### さまざまなテキストファイルをRDF変換

CSV (TSV)、XMLをRDFに変換します。RDFファイルをそのまま登録することも可能です。



### RDBMSからRDF変換

RDBMSに格納されているデータをそのままRDFに変換します。

### その他InfoLibパッケージと連携

すでにInfoLibをご利用の場合は、データ作成作業は不要です。そのままRDFへ変換します。

### OAI-PMHを利用した連携

OAI-PMHプロトコルを利用してデータを収集し、RDFに変換することもできます。

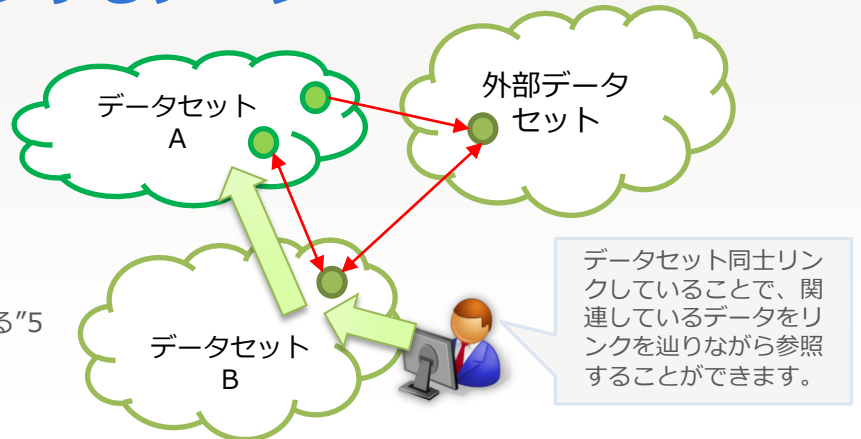
## “リンクするデータへ”

### 登録したデータセット同士をリンク

登録したデータ同士でリンクさせることで、データを共有、探索させやすることができます。

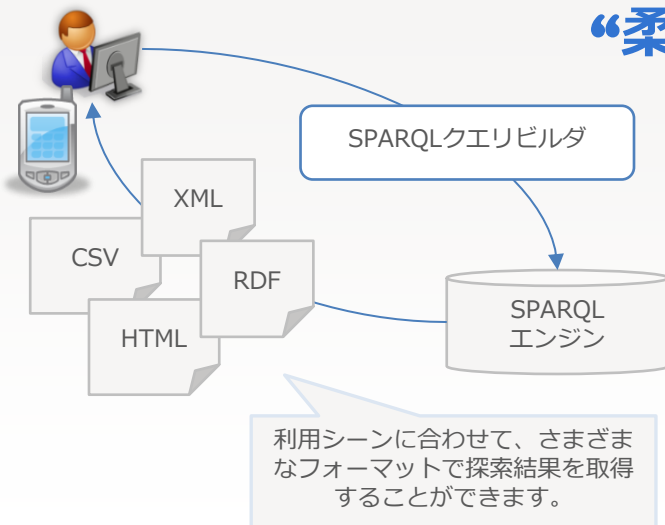
### 外部データセットとリンク

外部とリンクしたRDFにすることで、W3Cが提唱する“5 star”のLinked Open Data にすることができます。



データセット同士リンクしていることで、関連しているデータをリンクを辿りながら参照することができます。

## “柔軟な探索”



利用シーンに合わせて、さまざまなフォーマットで探索結果を取得することができます。

### SPARQLエンドポイントの構築

登録したデータは、キーワードによる検索だけでなく、SPARQLを利用して柔軟な検索が可能です。また、SPARQLクエリビルダ機能を利用した支援機能も充実しています。

### さまざまなフォーマットで探索結果を取得

SPARQLによる問い合わせ結果は、HTMLだけでなく、XML、JSON、N-triples、RDF/XML、CSV、TSVで取得することが可能です。